

人に

少年の日の事ばかりしのばれる
あなたはいつまでもいつまでもオルガンをひいてみて
つまらなさうにしている僕をふりかへり時々笑ひかけてくれた
桃の花が挿してあるけれど
なんだかさびしいみたいなのひんやりしたしづかな教会堂の中で
でもやつぱりあなたのやさしさにばかり頼つてゐた
早くあたたかくなれないかしら
僕はどうしてこんなに弱いんだらう
この人を恋人のやうに思つてはいけないのかしら
窓の外にはヒマラヤ杉が茂りつめたい風が吹き込んでゐた
ああ あれから何年たつたのだ
逢つた
突然 それも秋深くなつた昨日
あきらめなければならぬと
自分に言ひきかせなければならぬ僕
胸に火をつけに来ただらうか あなたは
後悔をもう一度味はせに来たのだらうか あなたは